

## 出雲駅伝予選会

競技会コード:18 6105 03

競技場コード:012010

1. 主 催:北海道学生陸上競技連盟
2. 開催協力校:北海道教育大学
3. 運営協力:札幌陸上競技協会
4. 期 日:平成 30 年 7 月 7 日(土)
5. 場 所:札幌市円山公園陸上競技場
6. 競技種目  
男子 5000m
7. 競技日程

詳しい競技日程については、開門時間等と併せて、競技会の 1 週間前には参加大学に連絡する。  
また、学連ホームページ上でも発表する。

### 8. 競技方法及び選考方法

- 1) 1 チーム 10 名のエントリーを行い、6 名の出場とする。
- 2) 1 校 2 名ずつ、3 組でレースを行う。6 名の合計タイムの上位 2 校を第 30 回出雲全日本大学選抜駅伝競走への推薦対象校とする。なお、2 校目が同タイムの場合は、当該大学代表者の抽選により、推薦対象校を決定する。

### 9. 参 加 資 格

1) 平成 30 年度北海道学生陸上競技連盟男子登録者に限る。

- 2) エントリーは 1 校 1 チームとする。
- 3) 留学生はエントリー 2 名以内、出場 1 名以内とする。

### 10. 競技規則

平成 30 年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本競技会申し合わせ事項による。

### 11. 参 加 料

1) 1 チームにつき、5,000 円とする。

### 12. 申込期間

6 月 13 日(水)から 6 月 27 日(水)まで

### 13. 申込方法

- 1) 申込用エクセルファイルは、競技会ごとに要項と一緒に各大学に配布する。また、本学連のホームページからも取得できる。

※入力には Microsoft Excel が必要となります。

- 2) 申込に際しては下記の書類を揃え、電子メールにエクセルファイルを添付して申し込む。

ファイルの名称に団体名を加えて保存すること。

※紙媒体を郵送しての申込は受け付けない。(紙郵送を希望する場合は別途連絡すること)

#### 〈申込一覧〉

“入力”シートのフォームに必要事項を入力し、作成すること。不備がある場合は料金計算や番組編成に影響があるため十分に注意すること。

#### 〈申込料合計〉

連絡先等必要事項を記入すること。

“申込一覧”への入力に不備がある場合は、誤った金額が表示されるため、申込者各自の責任で料金を確認の上、参加料を支払うこと。

3) 申込締め切り(6月27日(水))までにエントリー完了すること。

4) 参加料は必ず以下の振込先へ納入すること。

振込金受領書は払い込みの確認に使うことがあるので、保管しておくこと。なお、振込期限は申込締切と同じく6月27日(水)とする。

〔振込先〕郵便為替 02730-1-12927 北海道学生陸上競技連盟

※通信欄には団体名・参加料の合計を記入すること。

5) 領収書の発行を希望する場合は、その旨を届け出ること。競技会当日、本部受付にて発行する。

#### 14. 注意事項

エントリーは正競技者6名、補欠競技者4名の合計10名とする。オーダーの提出(走るメンバーとその組)は大会前日12時までに指定のファイルにて弊連盟までメールにて行うこと。その後の変更については、医師の診断書を添えて併催の北海道学連中長距離記録会の競技開始1時間30分前までに大会本部にて行うこと。変更は正競技者と補欠競技者との交替のみとし、正競技者間での交換は認めない。なお、補欠競技者は併催の北海道学連中長距離記録会5000mへの追加出場を認める。その際の料金はかからない。

#### 15. 問い合わせ先

〒001-0017

北海道札幌市北区北17条西5丁目20番地サニーサイドハイツ207号室

北海道学生陸上競技連盟 競技会係

Tel/Fax 011-727-3677

E-mail [hokkaido-gakuren@lake.ocn.ne.jp](mailto:hokkaido-gakuren@lake.ocn.ne.jp)

#### 16. その他

1) 競技会参加者は主催者が用意したナンバーカードを受付で受け取る。

このナンバーカードは競技終了後、団体でまとめて受付に返却する。

2) 競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うが、それ以後の責任は負わない。ただし、2018年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

3) 主催者は個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、番組編成及びプログラム作成、記録発表、公式ウェブサイトその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

4) 大会の写真・映像・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会プログラム・ポスター及びテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。